

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
2 -	健康づくりを推進する	福祉部、健康・こども部、教育 総務部、市民病院					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	実績値					5年度 目標値
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度	5年度	
がん検診の受診率	%	16.1	14.9	16.1	17.3	17.8	18.0
特定健康診査（こくほ特定 健診）の受診率	%	34.2	32.6	33.9	36.4	37.0 【速報値】	42.0

関連事業				
○健康増進事業○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業○新型コロナウイルスワクチン接種事業○特定健診・特定保健指導事業○データ分析に基づいた健康政策事業○高度医療器械等整備事業○災害時医療提供推進事業○救命救急センター運用事業○食に関する指導事業○学校給食地場産野菜等使用推進事業				
決算額				
	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	773,357	2,454,210	3,413,687	1,301,674
執行率（％）	92.97	96.42	92.95	63.34

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
・市民病院では、ホルター心電図解析装置等の高度医療器械を整備するとともに、救命救急センターにおいて、救急搬送が必要な患者を受け入れ、「断らない救急」を実践しました。また、大規模地震や富士山の噴火を想定した災害対応医療訓練を実施しました。 ・各種検診、生活習慣病予防に関する教室、未受診者・治療中断者への受診勧奨を実施したほか、内臓脂肪症候群に着目した特定健康診査及び特定保健指導を実施しました。また、国保データベースシステムを活用した健康課題に関するデータ分析を行いました。 ・学校給食の安心・安全を維持するとともに、給食食材に地場産野菜等を使用するように努めました。さらに、食に関する指導を実施しました。 ・新型コロナウイルス感染症に関する感染予防対策や感染状況、支援体制等の情報を発信するとともに、市内医療機関や集団接種会場でワクチン接種を実施しました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（ ）」
・先進の医療水準を確保するとともに、災害時に医療拠点病院としての機能を発揮させるほか、市民が切れ目ない医療を受けられる体制づくりが必要となります。 経営状況や医業収益とのバランスを考慮し、高度医療器械等を整備するとともに、被災状況に応

じた実践的な訓練を実施するほか、地域の医療機関等と連携した医療を提供します。

- ・「断らない救急」の実践にあたり、より多くの患者の命を救うため、緊急搬送を受け入れる必要があります。

継続して救急搬送やヘリ搬送を行う県内の消防本部等と受入れについての連携を図り、「断らない救急」を実践します。

- ・市民一人一人が、自ら進んで健康づくりに取り組む必要があります。

健診実施体制の拡大に向けた見直し、未受診者への受診勧奨等を実施します。特定保健指導はオンライン申込やＩＣＴ面談など利用しやすい環境を整えます。また、各種検診を受診する必要性を普及啓発するため、国保データベースシステムなどのデータ分析から得られた平塚市の健康課題に対する健康情報を、市民に分かりやすく発信していきます。

- ・食に関する指導について、ニーズや新たな課題に対応する必要があります。

給食食材に地場産野菜等の使用、食育ネットワークを充実するとともに、栄養士研修会を実施し、栄養士の質的向上を図ります。